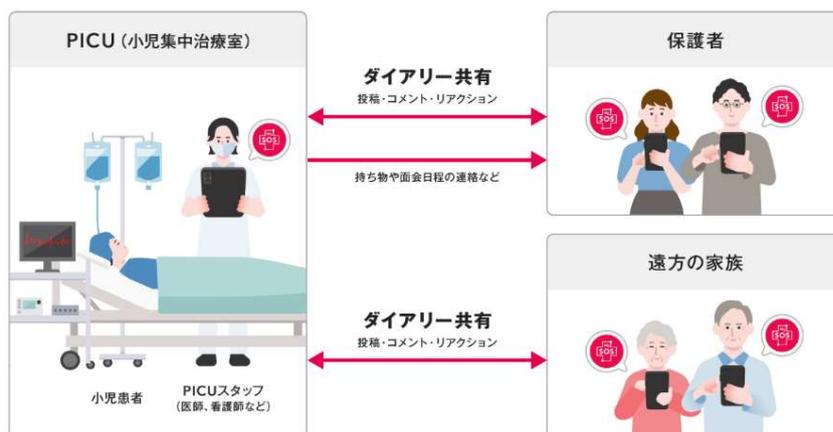


報道関係者各位

2025年6月27日
 国立成育医療研究センター
 株式会社アルム

小児集中治療室（PICU）に入室した子どもと家族のメンタルをサポート
 Web PICU ダイアリーの実現可能性について検証
 国立成育医療研究センターとアルムが共同研究を開始

国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区、理事長：五十嵐隆）集中治療科の壺井薫と株式会社ディー・エヌ・エーの子会社である株式会社アルム（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：大谷駿明、以下 アルム）は、「小児集中治療後症候群（以下：PICS-p（ピックスピー））」¹の軽減に寄与する可能性のある「PICU ダイアリー」の作成をデジタルで行えるようにし、システム構築や技術的な課題の検証、ご家族の満足度について評価する研究を開始しました。PICU ダイアリーは、PICUに入室している子どもの治療過程や日々の出来事などを、子どもだけでなく、ご家族や医療スタッフが記録する日記です。PICUに入室している子どもは治療に使う麻酔などを含む鎮静剤の影響による記憶の欠損や、治療に対する恐怖心などを持つ場合があります。また、保護者は、自分の子どもが生命の危機にさらされている中、面会制限などで子どもと過ごせる時間が制約されるため、強い精神的ストレスを受けます。Web PICU ダイアリーを使うことで、自分の子どもがおかれている状況を自身のスマートフォンやタブレットで確認できるようになり、医療従事者とのコミュニケーションの促進も期待されます。また、お子さんとの面会が困難な状況にあるごきょうだいや遠方にお住まいのご家族も Web PICU ダイアリーの閲覧や投稿を通して闘病中のお子さんの支援に参加することができるようになります。お子さん自身にとっても、PICU ダイアリーを通して自分が治療を頑張っている様子を振り返ったり、保護者・医療従事者からの励ましのメッセージを読むことで、自己肯定感を高めたり、PICS-p の症状軽減の助けになると考えられています。

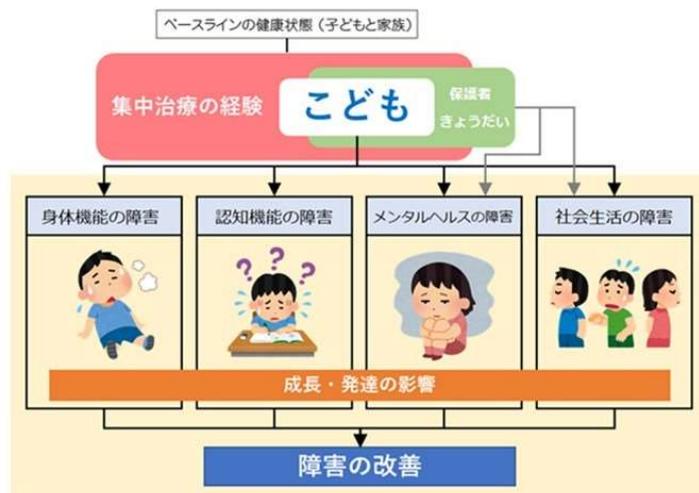


【図1：PICU ダイアリーの概念図】

¹ 小児集中治療後症候群（PICS-p）：重い病気でPICU（小児集中治療室）に入室した子どもが退室後に直面する身体機能、認知機能、メンタルヘルス、社会面におけるさまざまな問題の総称。子どもの家族にみられるメンタルヘルスや社会面の問題も含む。具体的には、身体機能では筋力の低下や運動機能の低下など、メンタルヘルスでは急性ストレス反応や抑うつなど、社会面では養育環境の変化などが挙げられる。

■背景

医療技術の進歩により PICU での救命率が向上した一方で、急性期の治療を乗り越え、PICU を退室したお子さんやそのご家族の多くに、身体機能やメンタルヘルスなどに問題が生じてくる小児集中治療後症候群（PICS-p）があります（図 2）。例えば、メンタルヘルスにおいては、お子さんやご家族に、急性ストレス反応、不安、抑うつといった精神症状がみられることがあります。



【図 2：PICS-p の概念図（出典：日本集中治療医学会 HP より）】

欧米の PICU では、お子さんのご家族に加え、医療従事者が共同で作成する日記「PICU ダイアリー」が広く利用されています。PICU ダイアリーには、お子さんの日々の様子や励ましの言葉、ご家族の思いなどが記入されます。近年、この PICU ダイアリーが、ご家族と医療チームとの間のコミュニケーションを促進し、ご家族の心理的な支援に有用であるとの報告があります。しかし、日本国内では PICU ダイアリーの作成・維持に人的・時間的な負担²が大きいいため、導入している施設はほとんどありません。

そのため、セキュアな環境で管理されオンライン投稿が可能なシステムの構築によって、ご家族・医療従事者の負担軽減や、従来の PICU ダイアリーの課題を解決することが求められています。

■研究概要

研究対象：国立成育医療研究センターで生体肝移植、人工心肺を使用した心臓外科手術を受け、国立成育の PICU に入室した 6 歳以下の子どもとそのご家族、20 組。

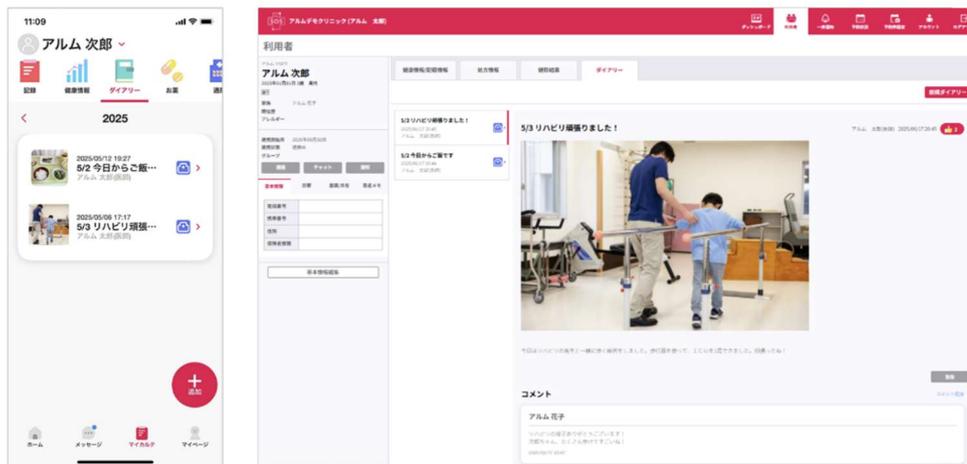
研究方法：アルムが開発している健康・治療生活サポートアプリ「MySOS」に搭載されたダイアリー機能を研究対象者に利用してもらい、その満足度を調査する。

評価指標：「Client Satisfaction Questionnaire 8」日本語版³

研究期間：2025 年 6 月～2026 年 3 月

² PICU ダイアリーの負担：従来の紙媒体では、撮影した写真を印刷しノートに貼り、コメントを手書きし装飾します。また、ご家族は面会日にお子さんのベッドサイドに来た時にしか PICU ダイアリーの作成や閲覧ができません。

³ Client Satisfaction Questionnaire 8：治療の満足度を図る尺度。「あなたが受けた医療の質はどの程度でしたか」「あなたが望んだ治療は受けられましたか」など 8 項目を、よくない、あまりよくない、よい、とてもよいの 4 段階で評価する。



【図 3 : PICU ダイアリーの画面イメージ】

■MySOS について

MySOS は、ご自身や家族の健康管理や治療生活をサポートするアプリです。PHR（パーソナルヘルスレコード）による個人の健康管理だけでなく、家族間でデータを共有することで、アプリを持たない子どもや高齢者など家族全員の日々の生活をサポートします。また、地域医療や災害時における医療・行政サービスの提供にも役立てることが出来ます。

<https://www.allm.net/mysos/>

■株式会社アルム

「すべての医療を支える会社（All Medical）」として、「Shaping Healthcare」をコーポレートメッセージに掲げ、ICT の力で医療の格差・ミスマッチをなくし、全ての人に公平な医療福祉を実現します。また、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を始めとした医療 ICT 事業では、グローバル展開に積極的に取り組み、日本発の医療 ICT 企業として 30 カ国以上へのソリューション提供を行っています。

■本リリースに関するお問い合わせ先

国立成育医療研究センター 広報企画室 村上・神田
 電話：03-3416-0181（代表） e-mail :koho@ncchd.go.jp

株式会社アルム 社長室 広報・PR グループ
 Email : press@allm.inc